

わが社の健康経営

昨年12月に県が認定する「令和4年度ふくしま健康経営優良事業所」279社が発表された。少子高齢化による労働力不足が急速に進む中、従業員のパフォーマンス向上や企業ブランディングを考える上でも、「健康経営」は欠かせない企業戦略。各事業者では、従業員の運動習慣化や食生活改善の支援など様々な取り組みを通じて、持続的な企業成長を目指している。県内企業の「健康経営」の取り組みを紹介する。

(有)ワシオ商会(会津若松市)



「置き型お惣菜」で、バランスの取れた健康的な食生活を



「全品100円という手軽さが、利用率の増加につながっている

土木資材の販売・レンタル・修理を行う同社で昨年10月、「置き型お惣菜」を導入した。県内3事業所には専用の冷蔵庫が設置され、ハンバーガーや焼き魚、サラダ、スープなど、栄養士監修の極力添加物を抑えた健康的メニューを常時20種類程度そろえている。総菜は全品100円で購入することが出来、その手軽さから「買い物する時間がなくなり、お昼休憩に余裕が出来た」「家事負担が減った」など、従業員からの評判も上々だという。

「ここ」最近では「いつもカップラーメン」といった偏食の人も減って、更に時間的な余裕も出来たことで従業員満足度も上がってきています(鷲尾一美専務取締役)

また、健康経営の一環として20年以上前から禁煙対策にも取り組んでおり、敷地内禁煙の実施のほか、喫煙者には会社負担で禁煙外来の受診を推進。更に、健康診断で「要治療・要再検査」となった従業員へ二次検診を促すほか、ストレスチェックの導入やボーリング大会の実施など、従業員の意識向上を通じた、自発的な健康づくりを図っている。



「今年1月に開催した『ボールリング大会』。今後も、体を動かすことの楽しさを感じてもらおう各イベントを計画中だ

令和4年度

ふくしま健康経営優良事業所



このほど、県が認定する「令和4年度福島健康経営優良事業所」279社が発表され、従業員に対して積極的な健康増進に取り組む「健康経営」が讃えられた。少子高齢化による労働力不足が急速に進む中、従業員のパフォーマンス向上や企業ブランディングを考える上でも、いまや「健康経営」は欠かすことの出来ない企業戦略。各事業所では、従業員の運動習慣化や生活改善の支援など様々な取り組みを通じて持続的な企業成長を目指している。

特に優れた3事業社の表彰式は12月23日、福島市のウェディングエルティで開かれ、はじめに内堀知事は、「県でも全国に誇れる健康長寿県の実現に向けて健康づくりに取り組んでいます。引き続き働く世代の健康づくりにご尽力頂きますとともに、本県の取り組みを牽引して頂けるようお願い致します」

とあいさつ。式では最高賞の知事賞に選ばれた(有)ワシオ商会(会津若松市)、福島民友新聞社賞の(株)桑原コシクリート工業(田村市)、福島民報社賞の(株)利根川組(伊達市)が表彰された。